

大橋川通信

大橋川改修情報紙

「斐伊川水系河川整備計画」を策定していきます

国土交通省では、今後20～30年間で実施する河川整備の目標や内容を定める「斐伊川水系河川整備計画」を策定します。

策定にあたり、河川に関して学識経験等を有する方や地域防災・地域づくりに携わる沿川自治体関係者から意見を聞くため、「斐伊川河川整備懇談会」を設立しました。

今後、治水・利水・環境の総合的な河川整備を目指すとともに、住民意見の反映を行いながら河川整備計画を策定していきます。

第1回斐伊川河川整備懇談会は下記のとおり開催しました。

【日時】平成21年7月30日(木)

9:30～11:30

【会場】出雲市民会館

懇談会資料は出雲河川事務所ホームページでご覧いただけます
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

「斐伊川河川整備懇談会」を設立しました

委員紹介(学識経験者) (敬称略 五十音順)

あさだ じゅんさく 浅田 純作	松江工業高等専門学校教授
ありみつ れいこ 有光 礼子	元島根県景観アドバイザー
いしの きみお 飯野 公央	島根大学法文学部准教授
きしい たかゆき 岸井 隆幸	日本大学理工学部教授
くにい ひでのぶ 國井 秀伸	島根大学汽水域研究センター教授
さとう ひとし 佐藤 仁志	島根野生生物研究会
せいけ やすし 清家 泰	島根大学総合理工学部准教授
なかむら みきお 中村 幹雄	元島根県内水面水産試験場長
なつか いさむ 長束 勇	島根大学生物資源科学部教授
ひのきだに おさむ 檜谷 治	鳥取大学大学院工学研究科教授
ふくおか しょうじ 福岡 捷二	中央大学研究開発機構教授 座長
ふくしま りつこ 福島 律子	松江市教育委員会教育長
ふしおか だいせつ 藤岡 大拙	荒神谷博物館館長
まつみ らいほる 柏見 吉晴	鳥取大学大学院工学研究科教授

特集

中面:「第1回 斐伊川河川整備懇談会」での主な意見をご紹介します



第1回 斐伊川河川整備懇談会が開催されました

流域市・町の意見

【境港市 安倍副市長】

- 境港市では、渡漁港等の未整備箇所について住民から改修要望があり、鳥取県、国土交通省と連携して協議を進めている。
- 上流から下流まで住民の安全・安心が確認できるような整備計画が急がれる。

【米子市建設部 成谷部長】

- 堤防の高さが不足している区間があることに漏れがあることに伴って、住民は若干の不安を感じている。
- 住民との意見交換を重ねていくことでお互いの理解を深めることができると思っている。

【安来市 近藤市長】

- 安来市としては護岸の整備や水質をはじめとする環境問題にも大きな関心がある。
- 護岸等の問題もあるが、早く大橋川改修に着手し、松江市を水害から守るべきであり、積極的に協力したい。

学識経験者の意見

【飯野委員】

- 治水事業によって、大橋川の風光明媚な風景・景観に大きな影響が出る。
- 風景や景観、そこで暮らす人々の生活等周辺にかかわる様々な影響についてできるだけ多くの情報を集め、比較検討し、極力地域にプラスになるような、単なる河川改修ではなく、調和のとれた改修事業になるようできるだけ検討したい。

【浅田委員】

- 住民の意見を集約することになっているが、情報提供のあり方や情報収集の仕方等に気をつけ、工夫してほしい。
- 防災面やまちづくり等に対して上手な情報提供や住民からの情報収集について整備計画に盛り込んだ形で考えてほしい。

【國井委員】

- 特に大橋川については、水質や景観あるいは生物多様性といった面からいかに保全、あるいはよくしていくことができるかについて意見を述べたい。

【佐藤委員】

- 斐伊川水系の調査をいろいろ行ってきた。全国に誇れる環境を持っているし、特異な生態系がある。貴重な生物もいるし、産業にも貢献している。こういった全国に誇れる環境というものを視野に入れながら今後の議論を進めていきたい。

【清家委員】

- 当面大橋川に関する整備が中心となるだろうが、大橋川の改修に関しては、塩分と溶存酸素の変化が重要である。それから生態系の変化の一番のもととなる米養塩の変化が重要である。今一番懸念しているのは、本庄水域の水質悪化である。

【中村委員】

- 斐伊川の下流には、塩分濃度の異なる宍道湖と中海があり、全国的にも非常に貴重な生態系があり、この生態系を壊さないように、整備計画も留意してほしい。
- 宍道湖は貴重な漁業が営まれている。健全な汽水の生態系があるからこそであり、水産資源に対して大きなマイナスがあってはならず、むしろプラスになるような整備計画を望んでいる。

主な意見をご紹介します。



【長束委員】

- 公共事業で物を作っていき、維持管理するものを増やしていくことである。少子高齢化が間違いなく進んでいく中で、重要な社会資本をどのように維持管理していくかを常に考えながら計画を立てることが重要である。

【梶谷委員】

- 昭和60年ぐらいから斐伊川の河床変動、流砂の研究をやってきており、伊萱床止の下流が変わってきていると感じる。上流側の土砂供給が少なくなっているためと思うが、これから将来、さらに変わっていくかもしれないため、どのように維持するのかなどについて検討していきたい。

【福島委員】

- 以前、宍道湖の景観についての検討委員会があった。そのときに「どんな景観があってほしいか」、「こういうことを活かした護岸であってほしいか」ということを検討した。それを今回、委員の先生方と一緒に検討させていただきたい。

【松見委員】

- 境港市と米子市で中海の水位をどうやって決めるかについて住民に説明したことがある。住民の方々をよく勉強されている。住民のみならずに対して正確でわかりやすい説明が必要である。ハード対策だけでなく、ソフト対策についても住民の方々にある程度理解してもらって、住民と行政が協力することで防災に関する自助体制を作り上げていくことについて整備計画に含めたいし、そういう面で意見を述べていきたいとも思っている。
- 堤防の安定性の面でこの懇談会に貢献していきたい。

【座長 福岡委員】

- 地域にとって、一番いい形、安全・安心に加え、環境面からも優れたものをつくっていくことが重要であり、そういう視点で前向きに、これまでの経緯を十分理解して、議論していきたい。
- 斐伊川と長い間、関わってきたが、本日各市長・町長からのお話を聞いて、長いいろいろな歴史があってようやくここまで来たことを再認識した。その長い歴史の中で議論されてきたことを整備計画で確かなものにできるよう、皆様や地域の皆さんの意見を受けながら、まとめていきたい。

【出雲市 長岡市長】

- 出雲市は上中下流の全てに関係する地域であり、歴史的にみても繰り返されたはん濫に悩まされた地域である。
- 3点セットについては、ダム、放水路、大橋川が整備されるという条件付きで放水路を同意した経緯がある。
- ダムや放水路事業は、多くの住民のいわば犠牲の上に進めてきた。何のためにこれらの事業をやってきたか、わかる形をとっていただきたい。

【雲南市 速水市長】

- 一番の課題は、同時に進められるべき3点セットのうち、大橋川改修が遅れていることであり、整備計画の中でしっかりと位置づけられる必要がある。
- 尾原ダムが湛水すると松江市のために土地を提供し、移転した方々の家屋、田畑等が湖底に沈むことになる。一方、大橋川改修事業は着手しておらず、家屋や田畑を提供した方々にとって、本当に残念な気持ちを持たざるを得ない。ダムが湛水するまでにぜひ大橋川改修に着手してほしい。

【奥出雲町 井上町長】

- 3点セットについて、上流の住民の気持ちは、雲南市長の意見と同様である。
- 風化花崗岩地帯であり、町管理の小河川も大変崩れやすくて、ちょっと雨が降ると被害が出る。上流の小河川の整備にも目を配ってほしい。
- 上流部の町として、今後も水質の改善に最善の努力をしていく必要があり、住民と連携して水質改善に取り組んでいくつもりである。

【東出雲町 鞆嶋町長】

- 大橋川改修については協力していきたい。
- 安定した水供給と災害に対して住民に安心感を与えたいという思いがある。

【松江市 松浦市長】

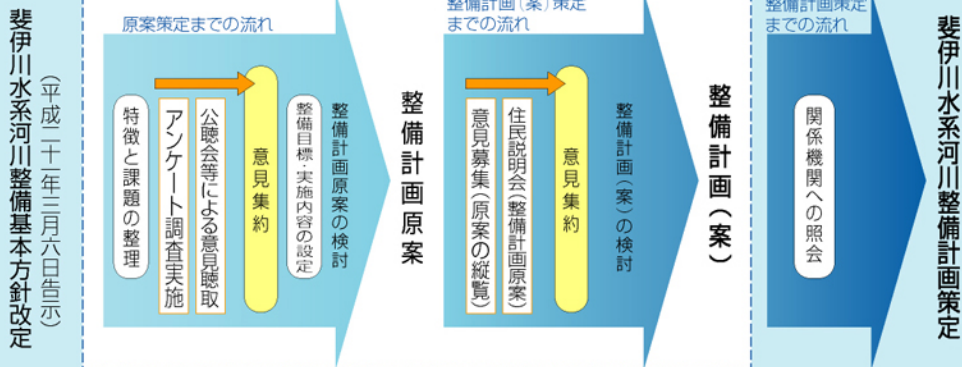
- 大橋川改修について、今までに「まちづくり検討委員会」、「環境検討委員会」、「技術検討懇談会」などさまざまな角度からご検討いただいた内容が整備計画に反映されることを期待する。
- 松江市では昭和47年に引き続いて、平成18年にも同じような状況で災害が起きてしまったことを痛切に反省しており、二度同じ事が起きないように早期の対策を実施していく必要がある。
- 松江市は低湿地帯が多いので内水対策が急務であり、築堤・排水ポンプの整備を行う必要がある。さらに、松江市内の宍道湖・中海についても、湖岸堤の築堤・内水対策を大橋川改修とあわせて行っていく必要がある。
- 昨年の12月には、早期に大橋川改修に着手できるように、近隣市(米子市、境港市)にお願いをした。最終的には、島根県と鳥取県の両県の合意が必要であり、両県に努力していただきたい。松江市としては、引き続き、米子市、境港市にご理解をいただけるように努力していきたいと考えている。

【斐伊川土木課 江角課長】

- 治水面では、昭和47年、平成18年の水害を経験し、住民は常に不安を抱えながら生活をしている。
- 治水については、斐伊川や宍道湖西岸の堤防の安全対策について感謝している。斐伊川西岸は、古来軟弱地盤の沈下地帯であり、引き続き配慮をお願いしたい。また大橋川改修についても早期着手をお願いしたい。
- 利水については、斐伊川からの農業用水の確保は大変重要な課題である。出西付近では、近年の河床低下で樋門からの取水がしにくい状況にある。農水省の中海土地改良事業の淡水化が中止になり、新たに農業用水確保対策事業が現在進められている。安定的な取水について協議をさせていただきたいが、この際に従来の慣行を尊重した受益者の立場に立った対応をお願いしたい。

斐伊川水系河川整備計画(国管理区間)策定までの流れ

斐伊川河川整備懇談会



住民意見の聴取について

斐伊川水系の今後20～30年間の整備目標や整備内容を定める「斐伊川水系河川整備計画」の原案を作成するにあたり、地域にお住まいのみなさんのご意見を「アンケート」と「斐伊川住民意見発表会」で募集します。

お寄せいただいたご意見は、これを踏まえ作成する整備計画原案とともに公表し、改めて整備計画原案に対するご意見をうかがいます。

アンケートにご協力下さい

- 9月6日(日) アンケートはがきを新聞折り込みで配布します。

【配布エリア】斐伊川水系の沿川市町
米子市、境港市、松江市、出雲市、安来市、雲南市、東出雲町、奥出雲町、飯南町、斐川町

投函締切日 平成21年9月30日(水)

意見発表者を募集します

- 10月2日(金) 18:30～20:30 松江テルサ
- 10月3日(土) 13:30～15:30 出雲商工会館
- 10月4日(日) 13:30～15:30 鳥取県西部総合事務所 本館講堂

発表者の人数により開催日時・場所を変更する場合があります。最終情報はホームページ等でお知らせします。

申込締切日 平成21年9月14日(月)

※詳しくは、新聞折り込み・出雲河川事務所のホームページをご覧ください。(ホームページからでもお答え頂けます。)

大橋川コミュニティセンター 移転のお知らせ

平成21年8月3日(月)、「向島町(国の合同庁舎西隣)」から「殿町(山陰中央ビル)」に移転しました。

閲覧内容

- 大橋川改修に関する資料
- 模型やパネル展示
- 斐伊川水系に関する資料



入口の様子



展示室の様子



周辺案内図 N ▲

大橋川コミュニティセンター

【休館日】土日祝祭日・年末年始 【開館時間】9:30～16:00 【駐車場】なし
〒690-8668 松江市殿町383番地
TEL(0852)28-3621 FAX(0852)28-3623

アドレスが変わりました
E-mail : info@comisen.jp
ホームページ: <http://www.comisen.jp/>

※大橋川コミュニティセンターは、松江市と鳥取県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営をしています。